

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 30 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：食（特に朝食）の大切さを児童・保護者に伝え支援する事業</p>
<p>2. 申請者名：一般社団法人愛知県歯科医師会 会長 内堀 典保</p>
<p>3. 実施組織： 【主催】（一社）愛知県歯科医師会 【オブザーバー】愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座, 東海学園大学健康栄養学部, (公社) 愛知県栄養士会</p>
<p>4. 事業の概要： 生涯おいしく楽しく食べるためには、歯や口が健康でよく噛んで飲み込めることが重要である。 愛知県歯科医師会では「学校歯科医から新1年生の保護者の方へ」と題した食育に関するリーフレットを作成し、愛知県教育委員会を通して愛知県下の公立・私立のすべての新入学児の保護者を対象に配布した。 また、よく噛むことに主眼をおいたレシピ（もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト）の募集に関してもキッズレシピ部門を新設し、コンテスト入賞者には「愛知県学校歯科保健研究大会」にて表彰式を行った。</p>
<p>5. 事業の内容： 1) 食育リーフレットの配布 愛知県歯科医師会食育推進委員会および地域保健部 I を中心にオブザーバーである愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座、東海学園大学健康栄養学部、(公社) 愛知県栄養士会とリーフレットの内容及び配布方法等について検討会議及び打合せを行った。検討した内容をもとにリーフレットを作成し、愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会の協力のもと、愛知県下の公立・私立小学校および特別支援学校小学部の 2019 年度新1年生の保護者を対象として配布した。 2) もっと噛んで歯ッピーレシピコンテストの開催 食育を「噛むことの大切さ」の面から啓発するため、愛知県歯科医師会が作成したチラシ（別紙）を県下の歯科医院や学校、公共施設に配布し、また HP や新聞紙面においてもよく噛んで食べるように工夫したオリジナルレシピの応募を行った。その結果、歯ごたえがあり噛む回数を増やすために様々な工夫を凝らしたレシピ 309 作品の応募があり、「キッズレシピ部門」「地産地消“地元を食べよう”部門」「高齢者向け部門」の3部門に別けて審査した。 平成 30 年度は、応募作品よりそれぞれの部門にて金賞、銀賞、特別賞を、また、応募内容が充実していた学校の中から愛知県栄養士会会長賞を選考し、コンテスト入賞者には、平成 30 年 11 月 18 日(日)愛知県歯科医師会館において、県民、教育関係者、県歯会員を対象として開催された「第 39 回愛知県学校歯科研究大会」にて表彰式を行った。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）： 食育リーフレットに関しては、継続して毎年印刷し配布続ける予算と学校を通じて保護者へ配布する方法に少々難があり、レシピコンテストに関しては応募締め切り日の設定が応募数に影響を及ぼすため設定が難しく、デジタルでの応募も呼びかけているが、あいかわらず紙ベースでの応募が多いため審査資料の作成に労力を費やす点にある。</p>